

令和7年3月市議会定例会 環境部 議案説明資料 (当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和7年度環境部所管予算（案）総括表	1 頁
2	太陽光発電設備及び蓄電池設置補助について【拡充】	2 頁
3	市未利用地におけるオフサイトPPA事業による 太陽光発電設備導入補助について	3 頁
4	婦負斎場の再整備について	4 頁
5	カラス対策事業について	5 頁
6	ダンボールコンポスト普及啓発事業について	6 頁
7	災害廃棄物対策事業について【新規】	7 頁
8	資源物ステーション運営事業について【拡充】	8 頁
9	地域環境美化推進事業について【拡充】	9 頁
10	つばき園維持管理事業（設備改修）について	10 頁

1 令和7年度 環境部所管予算（案）総括表

【一般会計】

（単位：千円、％）

区分 予算科目(款・項)	令和7年度 当初予算(案) A	令和6年度 当初予算 B	対前年度比較	
			増減額 A－B	増減率 A／B
環境部 合計	5,071,825	4,697,963	373,862	108.0
(款4)衛生費	5,071,825	4,697,963	373,862	108.0
(項2)環境衛生費	5,071,825	4,697,963	373,862	108.0

【脱炭素化推進事業費】

2 太陽光発電設備及び蓄電池設置補助について【拡充】

[環境政策課]

(1) 予算額 108,400千円

〔 財源内訳 国庫支出金（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）108,400千円 〕

(2) 事業目的

環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用し、個人住宅及び事業所における再生可能エネルギーの導入拡大とエネルギーの地産地消を進め、本市におけるゼロカーボンの推進を図るもの。

(3) 事業内容

自家消費を目的として、自己所有又はP P A（第三者所有モデル）により太陽光パネルや蓄電池設備を導入する者を対象に補助を行う。

令和7年度より、事業所におけるP P Aによる導入を推進するため、補助上限額を1,500千円から15,000千円に拡充し、設備の規模は300kWまでを補助対象とする。

<個人住宅> 29,500千円

導入手法	補助対象機器	補助額	上限額	件数	(子育て 件数)
自己所有	太陽光パネル	70千円/kW	350千円	30件	(24件)
	蓄電池	補助対象経費の1/3 (上限50千円/kWh)	400千円		
P P A (第三者所有モデル)	太陽光パネル	70千円/kW	350千円	20件	(16件)

※子育て世帯等については、自己所有で定額80千円、P P Aで定額30千円を上乗せする。

<事業所> 78,900千円

導入手法	補助対象機器	補助額	上限額	件数
自己所有	太陽光パネル	50千円/kW	1,500千円	10件
	蓄電池	補助対象経費の1/3 (上限63千円/kWh)	1,890千円	
P P A (第三者所有モデル)	太陽光パネル	50千円/kW	15,000千円	3件

【脱炭素化推進事業費】

3 市未利用地におけるオフサイトPPA事業による 太陽光発電設備導入補助について

[環境政策課]

(1) 予算額 210,000千円

〔 財源内訳 国庫支出金（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）210,000千円 〕

(2) 事業目的

環境省の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用し、市未利用地において、PPA（第三者所有モデル）により太陽光パネルを設置し、本庁舎等の公共施設に送電することで、本市におけるゼロカーボンの推進を図るもの。

(3) 事業内容

ア 設置場所・発電設備等の概要

設置場所	設置面積	発電容量	供給期間
楡原地区 (北陸電気工業跡地)	23,000 m ²	1,520kW	20年間

※本庁舎等の供給先施設で使用する電力の約35%に太陽光発電由来の電力を導入するもの。

イ 今後のスケジュール（予定）

令和7年4月～ 詳細設計・着工

令和8年4月 供給開始

ウ 補助額

補助対象経費に2分の1の補助率を乗じた金額

（補助上限210,000千円）

<参考> PPA（第三者所有モデル）イメージ



【斎場管理費】

4 婦負斎場の再整備について

[環境保全課]

(1) 予算額 55,480千円

財源内訳	市債	41,600千円
	一般財源	13,880千円

(2) 事業目的

婦負斎場再整備に係る基本設計に基づき、実施設計及び既存建屋の解体等を行うもの。

(3) 事業内容

ア 令和7年度当初予算

・地質調査業務委託	10,186千円
・さく井掘削調査業務委託	15,994千円
・残置物撤去業務委託	2,200千円
・火葬炉設計・設置業務委託	9,900千円
・解体工事	17,200千円

イ 債務負担行為（追加）

事項	期間	限度額
改築工事実施設計業務委託	令和7年度～ 令和8年度	32,175千円
火葬炉設計・設置業務委託	令和8年度～ 令和9年度	188,100千円

ウ 継続費

事項	総額	年度	年割額
解体工事	172,000千円	令和7年度	17,200千円
		令和8年度	154,800千円

【環境保全事務費】

5 カラス対策事業について

[環境保全課]

(1) 予算額 21,535千円

〔 財源内訳 一般財源 21,535千円 〕

(2) 事業目的

都心部では、夕暮れ時に多くのカラスが群舞する光景やふん害がみられ、都市景観や生活環境が損なわれていることから、カラスの個体数を減少させるため、都心部におけるカラスの捕獲を重点的に取り組むもの。

(3) 事業内容

ア カラス捕獲業務委託 19,379千円
イ カラス生息数調査業務委託 2,156千円

[参考] 捕獲実績と生息数調査結果 (単位:羽)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (速報値)
捕獲数	2,864	2,745	2,902	2,238	1,824
生息数	夏:5,737 冬:2,497	夏:4,833 冬:2,195	夏:4,150 冬:4,743	夏:3,916 冬:2,857	夏:3,264 冬:2,795

【ごみ減量化・資源化推進事業費】

6 ダンボールコンポスト普及啓発事業について

[廃棄物対策課]

(1) 予算額 928千円

〔	財源内訳	諸収入（参加者負担金）	60千円	〕
		一般財源	868千円	

(2) 事業目的

ダンボールコンポスト等を活用し、家庭から出る「生ごみ」を堆肥化することにより、ごみの減量化と循環型社会の構築を図るもの。

(3) 事業内容

身近にある基材で取組むことができるダンボールコンポストや限られたスペースでも取組みやすいお洒落なトートバック型コンポストの普及啓発を図るため、体験講座を開催するもの。

ア 講座開催委託料 682千円

- ・ダンボールコンポスト講座 1回
- ・トートバック型コンポスト講座 1回

イ 事務費等 246千円

【災害廃棄物対策事業費】

7 災害廃棄物対策事業について【新規】

[廃棄物対策課]

(1) 予算額 10,030千円

〔 財源内訳 一般財源 10,030千円 〕

(2) 事業目的

本市では、令和6年能登半島地震に伴う対応として、これまで、倒壊したブロック塀等の撤去や公費解体等を実施してきたところであり、これらの経験を踏まえ、今後の災害廃棄物対策を強化することを目的に、災害廃棄物処理計画の見直しや災害廃棄物初動対応マニュアルの作成を行うもの。

(3) 事業内容

ア 災害廃棄物処理計画の見直し

- ・関係部局及び災害協定締結団体との連携や、他自治体からの受援計画の整理等を行い、災害廃棄物処理計画の更新を図る。

イ 災害廃棄物初動対応マニュアルの作成

- ・初動期から応急対応期前半にかけての詳細業務の整理等を行い、初動対応マニュアルを作成する。

ウ 経費

- ・委託料 10,000千円
- ・事務費 30千円

【ごみ減量化・資源化推進事業費】

8 資源物ステーション運営事業について【拡充】

[環境センター管理課]

(1) 予算額 17,395千円

財源内訳	諸収入（古紙売却収入）	6,799千円
	一般財源	10,596千円

(2) 事業目的

資源物の排出機会の拡大を図るため、土・日曜日及び祝・休日に持ち込み出来る資源物ステーションを開設し、ごみの減量化・資源化を推進するもの。

令和7年度、新たに和合地区において資源物ステーションを設置し、市内9か所で実施するもの。

(3) 事業内容

ア 受付業務委託料	8,248千円
イ 集積倉庫借上料等	622千円
ウ 和合地区での新設にかかる委託料等	3,500千円
エ 資源物処理業務料	5,025千円

合計 17,395千円

<位置図>



<参考>

資源物ステーションにおいて回収する品目

- ① 空き缶
- ② 空きびん
- ③ ペットボトル
- ④ プラスチック資源
- ⑤ 新聞
- ⑥ 雑誌・雑紙
- ⑦ 段ボール
- ⑧ 布類（衣類のみ）
- ⑨ 小型廃家電（パソコン含む）
- ⑩ 水銀使用製品（蛍光灯、体温計等）

【地域環境美化推進事業費】

9 地域環境美化推進事業について【拡充】

[環境センター業務課]

(1) 予算額 6, 2 2 3 千円

財源内訳	繰入金（ふるさとぬくもり基金）	1, 8 0 0 千円
	一般財源	4, 4 2 3 千円

(2) 事業目的

市内の良好な美観を保つため、市民との協働による清掃美化活動を行い、市民の環境美化意識の醸成を図るもの。

また、ニューヨーク・タイムズ「2025年に行くべき52か所」に本市が選定されたことを受け、国内外からの観光客増加が見込まれることから、富山駅から城址公園までの歩道を中心にカラスの糞等の除去を強化するもの。

(3) 事業内容

ア	消耗品等	4 5 7 千円
イ	鳥の糞等除去業務委託料	3, 9 6 6 千円
		(うち強化分1, 2 6 6 千円)
ウ	ふるさと富山美化大作戦開催補助金	1, 8 0 0 千円

【つばき園費】

10 つばき園維持管理事業（設備改修）について

[環境センター管理課]

(1) 予算額 143,449千円

[財源内訳	市債（つばき園施設整備事業債）	129,100千円
		一般財源	14,349千円

(2) 事業目的

つばき園（浄化槽汚泥処理施設）の設備が供用開始から30年以上経過し、著しく老朽化が進んでいることから改修を行うもの。

(3) 事業内容

ア 改修業務

令和7年度分 136,400千円
 （令和6～8年度 継続事業／総額1,298,000千円）

イ 改修監理業務

令和7年度分 7,049千円
 （令和6～8年度 継続事業／総額21,450千円）

(4) 年度別事業費及び事業スケジュール

(単位：千円)

業務内容	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
基本設計	10,230					10,230
発注支援		4,015				4,015
改修業務	継続費 (令和6～8年度)		0	136,400	1,161,600	1,298,000
改修監理			6,373	7,049	8,028	21,450
下水管実施設計	12,100					12,100
下水管布設工事		94,820				94,820
布設施工監理		3,740				3,740
年度計	22,330	102,575	6,373	143,449	1,169,628	1,444,355